

SLF 掲示板

布施新町住民と  
東大 10G が  
意見交換

5月11日、高齢化率が50%を超える布施新町の住民の皆様と東京大学高齢社会総合研究機構の研究者との間で、健康づくりや生活支援、農業交流をテーマに意見交換が行われました。地域づくりを進めるうえで意義のある意見交換でした。

柏市セカンドライフ  
応援窓口移転

今まで市役所のロビーに設けられていたセカンドライフの社会参加を応援する窓口が新装オープンになったパレット柏に5月14日、移転となりました。



セカンドライフファクトリー  
(SLF) 紹介

東大の生きがい就業研究に参加したシニアが作った法人です。地域の就労や仲間づくりの支援のために、講演会、職能講座、サロンなどの活動を行っています。また、東大や柏市からの委託事業を行っています。



**内容** 認知症予防の手法として開発された認知作業と運動を組み合わせた「コグニサイズ」、さらに、その地域展開の方法を名古屋市緑区、大府市の実践からお話しいただきます。  
7月1日(金)  
14時~15時30分  
**場所** 東京大学柏キャンパス  
柏市柏の葉5-1-5  
総合研究棟6階大会議室  
**費用** 資料代300円  
**申込** メール: info-slf@jcom.home.ne.jp (件名: 第33回講演会 申込)  
電話: 04-7100-8023

「地域の力で認知症を防ぐ」  
講師 島田裕之先生



国立長寿医療研究センター予防老年学研究部 研究部長

第33回SLF講演会案内

セカンドライフ  
ファクトリー通信

発行者  
矢富直美  
一般社団法人  
セカンドライフ  
ファクトリー

講演会ダイジェスト



ICT、医療・介護や健康づくりにどう活かす?

4月15日、SLF講演会が開催されました。講師は、国際社会経済研究所の遊間和子先生。豊富な国内外の事例をもとに「超高齢化社会のICT活用 - eHealth 最新事情」について話をしていただきました。

eHealthの役割

eHealthの役割は、ヘルスケア分野で事務作業や関係機関との連絡などを効率化することにある。

新しい治療法・予防法の発見

英国バイオバンク

2006年から2010年に50万人のボランティアから生活習慣データや血液データなどを収集。長期間のデータ蓄積と分析から治療や予防の研究に役立てている。

ファックス: 04-7100-0158  
WEB(セカンドライフファクトリーで検索)  
はがき: 〒277-0882 柏市柏の葉1-1-5 東葛テクノプラザ605  
SLF講演会係宛

EUの共有バイオバンク

5つのEUのバイオバンクのプロジェクトが共有するプラットフォームを開発。2010年スタート。各バイオバンクの独自性を尊重し、比較可能なデータを調整する。例えば、血圧データはデータの採取の方法で検査値を調整する。

アップルメディカルリサーチキット

2015年4月から、アイホンユーザーが登録し、健康データを収集する。最初の数週間で6万人が登録した。医学研究に貢献したい人が手軽に参加できるメリットがある。

在宅医療・介護での活用

他に、米ロチェスター大学などによるパーキンソン患者向けのアプリやマウントサイナイ大学などのぜんそく患者向けのデータ収集や症状軽減に役立つアプリが開発されている。

英国3ミリオンライフズプロジェクト

キャメロン首相の肝いりでスタートした遠隔医療・介護を官民で推進するプロジェクト。介護は170万人のユーザーに対し、医療は3万人ユーザーで伸び悩み。

英国ニューハム・ロンドン特別区サービスセンターの遠隔介護

地方行政サービスとして9000名に、24時間モニタリングサービス (次の頁につづく)

連載記事「認知症は予防できるか」を小冊子にいたしました

ご好評をいただいた24回の連載記事を小冊子にまとめました。認知症予防研究に携わってきた矢富先生が分かりやすく解説した書です。

ご希望の方はセカンドライフファクトリーにて販売しております(頒価300円)。

連絡先は 04-7100-8023 または info-slf@jcom.home.ne.jp



Jhontech 社モニター風景

を提供。緊急通報装置、煙探知機、失禁センサー、転倒センサーなどの警報に対応する。2012年で28万5千件の通報。必要な場合は登録された隣人や友人が駆けつける。

**オンライン共同組合方式のeHealth**

アイントホフオーフェン・ブレインポルト地域の自治体、企業、医療機関、介護事業者が参加。遠隔介護、夜間介護、情報連携、個人医療データ活用、家庭内の健康評価などが進行中。多様な業者による夜間介護を一本化し効率化。24時間体制の介護を実現。

**スペイン地域EHR**

アンダルシア州では、欧州の中でも最も先進的な地域電子医療記録EHRを構築。州政府が市民の医療・介護のすべてのデータをデータベース化し、医療・介護関係者に共有されている。電子処方箋のシステムも稼働。

**英国終末期の希望を共有**

インテレサント社のELMAは、例えば家で死にたいという希望をかかりつけ医、患者、介護、救急搬送スタッフが共有する。データは施設スタッフが家族とのカウンセリングを通じて入力する。

**オンラインアルツハイマー介護支援**

アプリ「アルツハイマーアシスト」

**プチカル講座  
参加者募集**

- ・男の脳トレ料理クラブ (木 午前) ※
  - ・小さな音楽室 (火 午前) ※
  - ・Web アルバム作成 (月 午前 6月6日～)
  - ・これから始める健康麻雀教室 (7月4日～)
  - ・フリー麻雀クラブ (平日 午前・午後) ※
- ※開催中。随時参加OK  
【お手伝いいただけるスタッフも募集中】

プチカル柏の葉

**広告**



庭木のお手入れは  
**SLFガーデン**  
サポートへ  
お見積り無料

安価で丁寧な仕事  
庭木の改作を提案

TEL 04-7100-2839  
<http://slf-gardensupport.com/>



**暮らしの支援  
えんがわ**

生活のお手伝い

お掃除  
お庭仕事  
買い物代行  
困りごと相談

TEL 04-7100-2839  
<http://kurashi-engawa.com/>

で介護者に情報提供と意見交換の仕組みを構築。2万人が登録。

**健康になれるまちづくり**

**見附市スマートウェルネスみつけ**

活動量計データと健康教室データをクラウド上で蓄積して運動のメニューやアドバイスに活用。最もユニークなのは都市政策や観光業などと連動して、高齢者が知らず知らずに健康になっている多面的な政策誘導を行っている。

**富山市健康データ活用のまちづくり**

富山市はコンパクトシティ化に合わせて高齢者の外出や社会参加を増やすように、地理情報システムを活用して施設を配置。健康増進支援ICTイベントやポイント制など社会参加誘導を図るICT事業を行っている。

**続々と登場する新技術**

**人工知能**

人工知能を活用して、医療現場のリスクマネジメント、新人教育、医療・介護の情報連携などが行われるようになってきた。UBIC「院内転倒防止システム」では、100名の電子カルテを学習し、リスクの高い患者情報を共有できるようになった。

**ソフトバンクの取り組み、モバイルヘルスとロボット**

ロボットや最先端認識技術を活用したサービスを提供。表情、音声、活動量から精神状態をリアルタイムで

評価するサービス、人工知能による医師の診断、治療法をアシストするなど。

**ウェアラブルデバイス**

情報を映すメガネ・血糖値を測定できるコンタクトレンズ(グーグル)、リストバンド型生体センサー(東芝)、緑内障を診断するコンタクト(シード)などウェアラブルデバイスが日進月歩で登場している。

(講演資料から矢富直美が作成)

**わいわいサロン紹介**

**スマホを使おうグループ**

スマホに興味がある人が月に1回集まっています。主な内容は①スマホの通信費を安くする方法(現在スマホを持っている人、これからスマホを持ちたい人)②スマホの基本的な使用方法(メールの仕方、インターネットの



使い方、電源の長持ちのさせ方など)③スマホの便利な使い方、楽しい使い方などです。現在スマホを持っている方も歓迎します。

**SLF事業スタッフ募集**

- ・認知症予防、虚弱予防コーディネーター
- ・生活支援事業スタッフ
- ・自治体の就労支援スタッフ
- ・仕事開拓営業スタッフ
- ・労務管理業務スタッフ
- ・調査データ入力作業



詳細は

**セカンドライフファクトリー**

**わいわいサロン会員募集**

趣味や学習活動を仲間と一緒に楽しむサロンです。時間の都合がつかないだけの参加も歓迎です。参加費無料。

- ・スマホを使おう!
- ・写真を楽しもう!
- ・ホームページを作ろう!
- ・エネルギーを知ろう!
- ・月1ウォーキング!
- ・投資を楽しもう!

